

施設名称

名古屋大学医学部附属病院

施設において移植可能な臓器



病院の特徴

- 対象原疾患 非代償性肝硬変、急性肝不全（昏睡型）等の保険適応疾患、先進医療「切除不能肝門部胆管癌への生体肝移植」、「切除不能大腸癌肝転移への生体肝移植」、希有な疾患で肝移植で救命が可能な疾患（一部自費診療）等
- 昨年度の生体移植数 7件（2024年度）
- 移植担当医師（成人代表医師名・小児代表医師名） 小倉 靖弘 病院教授
- 移植認定医数 3名
- 認定レシピエント移植コーディネーター 2名（肝臓担当）
- 移植実施施設としての特徴 これまで累計411例の肝移植（うち脳死肝移植90例）を実施。脳死肝移植適応疾患は日本肝臓学会で定められておりますが、肝移植でしか救命できない希有な疾患もあり、患者のメリットとなる肝移植医療の提供を心がけています。

待機患者数 （作成日現在）

56人
（成人54人 小児2人）

Status II MELD 25点以上9人
MELD19点以上22人

死体移植実施数 （過去3年間）

7件（2022年）
うち肝腎同時移植1件
7件（2023年）
うち肝腎同時移植2件
5件（2024年）
うち肝腎同時移植1件

お問い合わせ先

名古屋大学医学部附属病院
移植外科（担当）小倉

電話：052-741-2111（代表）
診療科HP：

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/transplantation_surgery/